

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 1月 22日

事業所名 放課後デイやわらぎ N e x t

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○		体を使ったプログラムを設定した際は近くの公園や体育館を使用しています。	R6年2月に今より少し広い場所へ移転します。
	2	職員の配置数は適切である	○				配置基準は満たしています
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○			現段階では、玄関、トイレの段差が気かりですが、移転先では配慮します。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○				週1回のペースでミーティングをし、振り返り⇒期限を決めて取り組んでいます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			今年度より、グーグルフォームを活用しています。	今後は行事の際にもアンケートを実施し、保護者様の意見をお寄せいただき、業務内容、支援の向上に役立たせていただきたいと思います。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			保護者様向けのお便りで公開をお知らせしています。	六条厚生会のホームページで、毎年公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○				法人内で苦情虐待第三者委員会、相談窓口を設けています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			平日午後からの研修参加は難しい時があります。	業務に支障がないよう調整を行い、研修の機会を設けて参加しています。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			利用開始日前に、保護者、関係機関の方々に聞き取りを行っています。	出来るだけ対面で話す時間を十分とらせていただいています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				年齢などによって、聞き取りのポイントも変わってくるためアセスメントシートの項目を見直し、改善を行い、よりよいツールになるように努めています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○				ミーティングで話し合い決めています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			マンネリ化しないように、運動、ビジョントレーニング、創作などバランスよく組み合わせています。	今後は食育、クッキングのプログラムをもっと取り入れていきたいと考えています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			滞在時間、当日のメンバー、などに合わせて設定しています。	計画通りに進まないこともあります。子供たちの状況等に合わせて判断、柔軟に対応するよう心がけています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			保護者の希望も取り入れるようにしています。	半年に1回更新しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			口頭だけではなく、書面のツールを使用して打ち合わせしています	職員が共通認識をもって支援に取り組めるようにしています。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			振り返りを毎日記録に残しています。	記録にとどめるだけではなく、次に生かしていくための話し合いと確認を行います。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				支援目標に沿った記録となるよう職員各自意識しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				半年に1度モニタリングを行います。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○				ガイドラインに沿って支援計画を立てています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				会議の時間帯によって、担当者の参加は難しい場合もあり主に児発管が参加しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○				直接、学校と連絡を取り合い、情報共有を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		設備的に難しい状況です。	人員配置や設備面での課題がクリアした場合、検討いたします。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			相談支援専門員に仲介していただくようにしています。	積極的に、こちらから出向いて、情報の共有をお願いしていきたいと考えています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○			まだ実績はありませんが、移行支援会議などに参加させていただき情報提供をいたします。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				研修に参加し学びの機会を得ています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	行事等で、利用者の兄弟等との交流はあります。	特性に合わせた配慮は必要となってきますが、機会があれば交流を増やしていきたいと思えます。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		○			児発管が参加する、「福井市障害児支援事業所連絡会」に定期的に参加して情報交換や研修を受けています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				毎回、お迎えの際、定期的な面談などで情報共有を図っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○			行事としては実施できていませんが、面談や相談の際に、特性に合わせた支援方法など一緒に考えたり、助言したりしています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				契約の際に行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				適切な時に助言、支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		家族参加型の行事で交流を図っています。	会は設置していません。今後は、コロナも明け、全員参加型の行事も開催できるようになりましたので、もっと保護者同士交流できる機会が増えるように計画します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				苦情受付表にて、原因や対応、再発防止について職員間でよく話し合い、速やかに対応できるようにします。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			毎月おたよりを書面で配布しています。	スマホ世代の保護者層への対応として、公式Lineでおたよりや行事、緊急時の発信を行っています。
	35	個人情報に十分注意している	○				個人情報に関する書類などは施錠された書庫へ、パソコンの使用についても担当者が安全管理を徹底しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				一人一人に合わせた対応をしております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○	今年度の行事の時は、コロナの影響もあり、地域の方との交流は行えていません。	事業所のことを理解していただけるきっかけになるので、行事への参加を呼びかけていきたいと考えています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○				発信が十分ではないものもありますので、近々ホームページに挙げていきたいと考えています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			避難訓練：2カ月に1回実施しています	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			年1回、必須研修としています	研修に出席、または伝達講習という形で必ず参加しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			個別支援計画書に記載し同意をいただくようにしています。	現時点で身体拘束は行っていません。環境調整など出来るだけ身体拘束を行わない支援を行います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			アセスメントの際にアレルギーについて確認し、医師の指示書を依頼しています。	指示書に沿って提供を行います。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			週に1回のミーティングで共有しています。	法人内でヒヤリハットを共有しています。他事業所の取り組みも参考にしながら、再発防止策を話し合うようにしています。